内容解説資料

指導事項配列表（１年）NO.１

指導事項配列表（１年①）			指導事項等	〔知識及び技能〕											
				(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項						(2) 情報の扱い方に関する事項		(3) 我が国の言語文化に関する事項			
				ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	イ 小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち３００字程度から４００字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち９００字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。	イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。	オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。
月		教材	時数												
4		朝のリレー	2	◎											
	言葉に出会うために	声を届ける　野原はうたう	1	◎											
		書き留める／言葉を調べる	2							◎					◎
		続けてみよう	－												
5	1 学びをひらく	はじまりの風	4							◎					
		季節のしおり　春	－			・									
		［聞く］情報を聞き取り、要点を伝える	1							◎					
		言葉1　音声の仕組みや働き	1	◎											
		話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする	4	◎											
		漢字1　漢字の組み立てと部首	1		◎										
		漢字に親しもう1			◎										
6	2 新しい視点で	ダイコンは大きな根？	2							◎					
		ちょっと立ち止まって	3							◎					
		情報整理のレッスン　比較・分類	1							◎					
		情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	4							◎					
		言葉2　指示する語句と接続する語句	1				◎								
	3 言葉に立ち止まる	空の詩　三編 ［書く］詩の創作教室	4［2］			◎		◎							
		言葉3　さまざまな表現技法						◎							
		比喩で広がる言葉の世界	2					◎							
		文法への扉1　言葉のまとまりを考えよう →文法1　言葉の単位（P242-245）	1				◎								
7		語彙を豊かに 心情を表す言葉	1			◎									
	情報×SDGs	情報収集の達人になろう コラム　著作権について知ろう	3［1］						◎	◎					
	いつも本はそばに	読書を楽しむ	1												◎
		本の中の中学生 あと少し、もう少し／西の魔女が死んだ	1												◎
		読書案内　本の世界を広げよう													◎
		コラム　本との出会い													◎
		季節のしおり 夏	－			・									

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
★対応する言語活動例。
・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を［ ］で示した。

〔思考力、判断力、表現力等〕																							その他
A 話すこと・聞くこと							B 書くこと								C 読むこと								
(1)指導事項					(2)言語活動例		(1)指導事項					(2)言語活動例			(1)指導事項					(2)言語活動例			
ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。	ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。	オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。	ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。	イ 互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。	ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。	ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	ア 本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。	イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。	ウ 詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く活動。	ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。	エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動。	イ 小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動。	ウ 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動。	
							◎					★											
																◎					★		
◎					★																		
	◎	◎			★																		
															◎					★			
															◎					★			
							◎	◎				★											
									◎		◎			★				◎			★		
															◎					★			
							◎					★							◎			★	
																			◎			★	

指導事項配列表（１年）NO.２

指導事項配列表（１年②）			指導事項等	〔知識及び技能〕											
				(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項						(2) 情報の扱い方に関する事項		(3) 我が国の言語文化に関する事項			
				ア　音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	イ　小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち３００字程度から４００字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち９００字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	ウ　事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	エ　単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	オ　比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	ア　原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	イ　比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	ア　音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。	イ　古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ　共通語と方言の果たす役割について理解すること。	オ　読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。
月		教材	時数												
9	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに……	4												◎
		星の花が降るころに	5								◎				
		項目を立てて書こう 案内文を書く	3								◎				
		［推敲］読み手の立場に立つ	1			◎									
		言葉4　方言と共通語	1											◎	
10		聞き上手になろう 質問で話を引き出す	2	◎											
		漢字2　漢字の音訓	1		◎										
		漢字に親しもう2			◎										
	5 筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	5							◎					
		思考のレッスン1　意見と根拠	1							◎					
		根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する	5								◎				
		漢字に親しもう3	3		◎										
		文法への扉2　言葉の関係を考えよう →文法2　文の組み立て（P246-250）					◎								
11		聴きひたる　大阿蘇	1			◎									
		季節のしおり　秋	－			・									
	6 いにしえの心にふれる	古典の世界	1										◎		
		音読を楽しむ　いろは歌										◎			
		蓬萊の玉の枝――「竹取物語」から 古典の言葉	4									◎			
		今に生きる言葉 ［書く］故事成語を使って体験文を書こう 漢文を読む	3 [1]									◎			
12	7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す ［書く］筆者の主張に対する自分の意見を書こう	4 [1]							◎	◎				
		思考のレッスン2　原因と結果	1							◎					
		漢字に親しもう4	1		◎										
		［話し合い（進行）］進め方について考えよう	1							◎					
		季節のしおり　冬	－			・									
		話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる	4							◎					
	いつも本はそばに	研究の現場にようこそ 四百年のスローライフ／ はやぶさ2 最強ミッションの真実	1												◎
		読書案内　本の世界を広げよう													◎

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
★対応する言語活動例。
・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を［ ］で示した。

〔思考力、判断力、表現力等〕																							その他
A 話すこと・聞くこと							B 書くこと								C 読むこと								
(1)指導事項					(2)言語活動例		(1)指導事項					(2)言語活動例			(1)指導事項					(2)言語活動例			
ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。	ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。	オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。	ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。	イ 互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。	ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。	ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	ア 本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。	イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。	ウ 詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く活動。	ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。	エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動。	イ 小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動。	ウ 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動。	
																◎					★		
																	◎				★		
							◎	◎					★										
										◎			★										
			◎		★																		
																		◎		★			
									◎		◎	★											
																			◎		★		
								◎				★							◎		★		
									◎			★					◎		◎	★			
				◎		★																	
				◎		★																	
																			◎			★	

指導事項配列表（１年）NO.３

指導事項配列表（１年③）			指導事項等	〔知識及び技能〕											
				(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項					(2) 情報の扱い方に関する事項		(3) 我が国の言語文化に関する事項				
				ア　音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	イ　小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち３００字程度から４００字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち９００字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	ウ　事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	エ　単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	オ　比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	ア　原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	イ　比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	オ　読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。	ア　音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。	イ　古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ　共通語と方言の果たす役割について理解すること。
月		教材	時数												
1	8 自分を見つめる	少年の日の思い出 ［書く］別の人物の視点から文章を書き換えよう	7 [2]			◎									
		漢字に親しもう5			◎										
		文法への扉3　単語の性質を見つけよう →文法3　単語の分類（P251-254）	2				◎								
2		二十歳になった日	4			◎									
		構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	5			◎									
		漢字3　漢字の成り立ち	1		◎										
		一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する	4							◎					
3		ぼくが　ここに	2					◎							
	学びを深める	国語の力試し	3					◎				◎			
巻末教材		文法1　言葉の単位 文法2　文の組み立て 文法3　単語の分類	－				◎								
		［練習］小学校六年生で学習した漢字 小学校六年生で学習した漢字一覧	－		◎										
		語彙ブック	－			◎									

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
★対応する言語活動例。
・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を［ ］で示した。

〔思考力、判断力、表現力等〕																				その他
A 話すこと・聞くこと							B 書くこと							C 読むこと						
(1)指導事項					(2)言語活動例		(1)指導事項					(2)言語活動例		(1)指導事項					(2)言語活動例	
オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。	エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。	ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。	ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。	イ 互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。	オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。	ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	ア 本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。	イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。	ウ 詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く活動。	エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。	イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	ウ 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動。	イ 小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動。	ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動。	
									◎				★			◎	◎		★		
																◎			★		
									◎	◎			★								
		◎			★						◎	★									
																	◎		★		
				◎		★		◎			◎	★		◎		◎			★		